

健康を楽しみ 味わい 考えよう

第39回くまもと健康まつり ニュース n o . 3

2022年5月9日
発行：健康まつり事務局
電話 096-383-8707

食糧支援・生活健康相談 会終了、ご協力ありがとうございました

5月8日(日)、快晴のなか第39回くまもと健康まつりを学校法人九州学院敷地のブラウン・メモリアル・チャペル内で開催しました。今年は通常健康まつりとは異なり、コロナ禍で社会的に様々な影響を受けて困難を抱えている方のために「食糧支援・生活健康相談会」という形での開催となりました。当日は実行委員会団体の方をはじめ、九学の学生さんボランティア、学園大の高林教授や学生も配布会に協力して総勢70名以上のボランティアが無事終了することが出来ました。チャペル内での配布は115名、近隣の県営・市営団地配布100名、その他で合計290個の物資を届ける事が出来ました。

支援物資

実行委員会では、配布会チラシを作成して団体毎に広げました。その結果、各団体や個人から20万円を超える募金が集まりました。また、支援物資は、ジュース300本、マスク多数、南関揚げ、生鮮野菜、ミカン、生理用品、茶葉、トイレトーパー、麺類など多方面より多くの種類の物資が集まりました。支援物資の中心となる米は、民医連職員から200キロ以上、日清医療食品60キロ、その他団体個人様より540キロ、合計800キロほど集まりました。まことにありがとうございました。



写真 左上;米を2キロに仕分け、右上;物資を袋詰め
左下;九学教会会場、右下;前日に教会へ搬入

健康まつり当日

13時30分からの食料配布会は、感染対策に留意しながらすすめられました。体温測定後に連絡先などを記入してもらい物資を受け取ります。各種相談のある方は相談コーナー(健康・医療介護・生活・労働)へと進みます。当日もうけたコーナーは、でした。健康相談コーナーでは、



↑開会前の打ち合わせ

血圧測定が20名弱、医療相談は4名。血圧の高い30代の方がおり、近々くわみず病院を受診されるとのことでした。労働相談は、「障害者雇用で雇われているのに給与は上げずに残業させて、処遇が悪い。障害者枠で入っているのに責任を負わせるような仕事をさせている。」その他介護相談や障がい福祉サービスに関する相談がありケアマネや社会福祉士が対応しました。



↑13:30に配布会受付

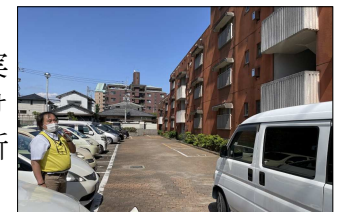
当日の会場への直接参加者が少なかったために近隣の県営・市営団地に物資を持ち込み、住民に物資配布を呼びかけました。住人の一人は「私も高齢者で九学まで行けない。わざわざ来てくれてありがとう。」団地の自治会長に配布会の趣旨を話すと「今日いらっしゃらない方や留守の方もいる。私が把握しているので確実に届けます。」と引き受けてくれました。「団地会所にいったん置かせてもらい、自治会長が個別に独居や高齢者、障害がある方に配布することを確認しました。」



↑一人一人に配布



↑医療相談中



↑団地で物資配布を呼びかける榎本実行委員長



↑九学のボランティア部の皆さん



↑暑いなか誘導や駐車場整理 お疲れ様でした

来年は江津湖でお会いしましょう!